

CLOSE UP!



Heart of Osaka

Heart of Osaka



「好きな言葉は、『信は力なり』。どんなに苦しい状況であっても、信じて頑張っていれば周りの人々が想いの実現を助けてくれると感じています」

対談記事 ▶ 058p

株式会社 RYU-SEI

代表取締役

木下 永績

Guidelines for business

縁あって引き継いだ事業は最悪の状態、30歳にして大きな苦難に立ち向かうこととなった(株)RYU-SEIの木下社長。ともすれば挫折しかねない状況を支えたのは懇意にしていた周囲の人々、そして家族であったという。「せっかくなので美味しいものを食べたいし、子どもにも食べさせたい。そして僕がそうならば、従業員にもいい思いをさせてあげられる」という言葉は、人として生きる根源、そして他者を思いやる姿勢の表れなのだ。男一代、廃棄物処理業界一筋30余年。愛する子どもたちの名を冠した会社と共に、社長は己の道を行く。

020 COMPANY TANK



社会の移り変わりに対応し エコにも積極的な廃棄物処理業者



株式会社 RYU-SEI

〒559-0013
大阪府大阪市住之江区御崎5-10-9
TEL 06-6683-5090 / FAX 06-6683-5091
URL <http://www.ryu-sei.co.jp>

Company data

代表取締役 木下 永績

廃棄物処理業に長年携わる。縁あって知人の事業を引き継ぎ、周りの助けを受けながら傾きかけていた組織の再建に成功。時代の流れに伴い、2012年には法人化を果たした。

原田 御社は高度成長期の頃に創業された廃棄物処理業者だそうですね。

木下 創業は1970年でして、私は知人が営んでいた事業を引き継ぎました。しかし経営状態を見てみると本当にボロボロで、途方に暮れたものでした。

原田 そんな状態から、どのようにして再建を果たされたのでしょうか？

木下 解体業を営む友人たちがバブル景気で忙しかったことで、解体工事後の廃棄物を回収する仕事を私に回してくれたのです。そして私自身も経営を立て直すべく必死で働きました。日付が変わってすぐに現場に行き、昼に仕事を終わらせた後は着替えて営業回り…3年間ほどはほとんど寝ずに働いていましたね。

原田 そここまで頑張れた原動力は何だったのでしょうか。

木下 周囲の方の支えもありましたが、何より家族の存在が大きかったです。バブル景気が終わった頃には得意先の倒産によって大口の未回収金が発生したこともありましたが、その時も妻が諦めかけた私を「2～3年は凌げる資金は貯めてあるから、諦めずに頑張れ」と叱咤してくれました。あの言葉は涙が出るほど嬉しくて、そこで事業を続けていく覚悟が改めて生まれましたね。

また、ある時は作業着で大手企業に飛び込み営業をし、担当者の方が「その根性が気に入った！」とありのままの私を評価して頂けたことから今日まで続くお付き合いが始まったということもありました。事業を続けていく中で人脈の大切さを身に染みて感じてきており、皆様には感謝の想いでいっぱいです。

原田 周りの方が支えてくれるのも、社長が常にひたむきに頑張っている姿勢が伝わっているからなのでしょうね。ところで、時代が変わり廃棄物の扱いも変わってきていると思います。そのあたりはいかがお考えですか？

木下 確かに、近年はエコ・リサイクルの意識が高まっており、自治体のほうでもゴミの量を減らす方針を進めています。法改正も頻繁に行われますが、弊社ではこれまでに築いてきた人脈を通じていち早く情報を把握し、先の展開に対応できるようにしています。また、中にはリサイクルをせず再利用したほうがいいゴミもありますので、法律に基づいて適切な処理を進めていきたいですね。認可関係をスムーズに進めるために、2012年には法人化も果たしました。

原田 これからますますの飛躍が期待されます。今後の目標などはいかがですか。

木下 再生事業センターを構え、自社でリサイクルを手がけることが当面の目標です。今はそのための場所を探している途中でして、いずれは会社機能をそこに一括集中したいと思っているんですよ。



▲(株)RYU-SEIのトラック



Guest Comment 原田 伸郎(タレント)

対談を通じ、木下社長の持つガッツ溢れる姿勢や強固な信念が伝わってきました。しかし必ずしも精神論だけでなく、世情やスタッフ、近隣住民のことについてもしっかりと考えた上で、状況に応じた的確な判断をされておられます。是非、若い経営者に見習って頂きたい人物です。

